

松島団地児童公園の遊具が新しくなりました！

松島団地児童公園に新しい遊具を設置しました。

公園で元気に遊ぶことは、子どもたちの健全な育成に重要です。どの遊具も小さいお子さんと一緒に安心して遊べますので、子育て世代の交流に、リフレッシュに、ぜひ親子で遊びに来てください！

- ▷誰もが一緒に楽しめる幼児用複合遊具
- ▷幼児用バケット付き2連ブランコ
- ▷親子きょうだいで楽しめるスイング遊具

- *降雪期は休止しています。
- *保護者の方は、小さいお子さんからは絶対に目を離さず、必ずすぐそばにいてください。
- *遊具は、一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業（宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源とする助成事業を行い、地域・団体のコミュニティ活動の活性化に寄与する事業）を活用した宝くじ助成金で整備しました。

問い合わせ先…都市・交通課 内線2672



他校との交流で地域学習！

11月16日、中央公民館で「小中学校児童生徒交流会」が開催されました。同会は、交流を通じてふるさと五所川原市への愛着を深め、次世代の地域を担う子どもたちの育成にむけて、今年度初めて企画されました。

市内17の小・中学校から代表者およそ50人が集まり、郷土芸能の発表や学校紹介、テーマによる話し合いが行われました。

三好小学校の児童は、学校で継承している伝統の獅子舞を披露し、迫力のあるパフォーマンスに会場からは大きな拍手があがっていました。市浦小学校と五所川原第三中学校の児童生徒は、各校独自のさまざまな取組について紹介しました。また、話し合い活動では「五所川原市を全国の人に知ってもらおう！アクションプランづくり」をテーマに意見を出し合ってアイデアをまとめ、それぞれユニークな案を発表しました。

参加した子どもたちは「三好小の獅子舞に圧倒された。伝統行事をしっかりと継承していくことが大切だ

「小中学校児童生徒交流会」

と思うので、このような行事を見に行ったり、自分自身も参加したりしてみたい」「市長の話聞いて市の現状をあらためて知ることができた。自分にできることは何かを探していきたい」と話しました。



テーマについてグループで話し合う子どもたち

今月号の表紙

今月号の表紙は、令和6年の干支「辰」にちなみ、飲食店街にたたずむ「女子部の井戸」の龍です。

女子部の井戸は、代官所の開設と同時に掘られたと伝えられ、この地に五所川原女子尋常高等小学校が建てられたことから、女子部の井戸と呼ばれるよ

〔川端町を見守る 「女子部の井戸」の龍〕

うになりました。その後、水量が減り利用されなくなりましたが、昭和48年に五所川原ロータリークラブが由来の看板を設置。平成6年には五所川原商工会議所青年部が多くの市民の支援により復興しました。井戸の龍は今も川端町を見守り続けています。